

# 第52回 環境安全委員会 資料 2

## 東京PCB処理事業所 PCB廃棄物処理施設の解体撤去の 進捗状況

2025年3月18日  
中間貯蔵・環境安全事業株式会社  
東京PCB処理事業所

# 目次

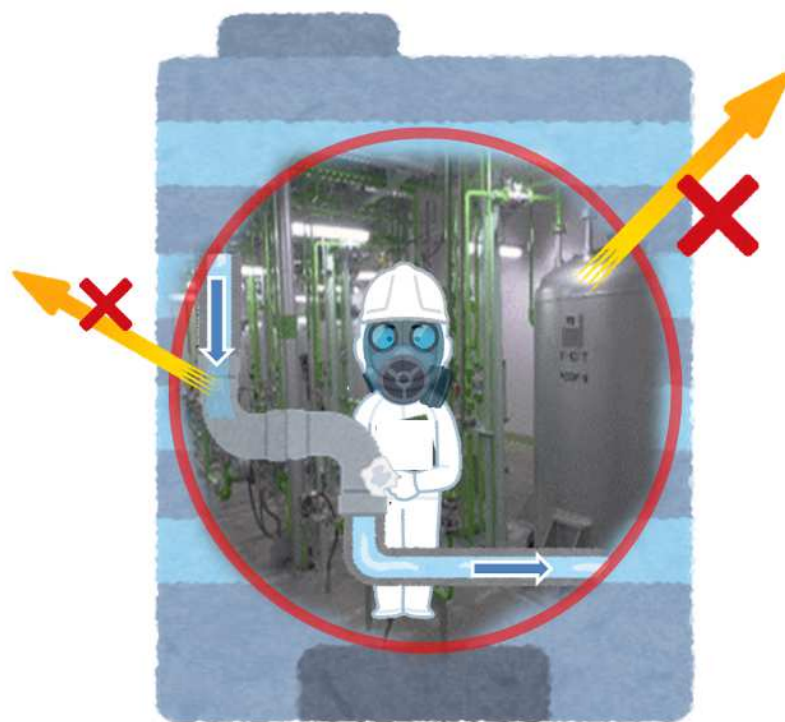
0.	PCB処理施設の解体撤去の概要	・・・ 3
1.	東京PCB処理施設 解体撤去の全体スケジュールの変更	・・・ 8
2.	JESCO解体撤去の基本方針等	・・・12
3.	解体撤去の基本的な進め方	・・・13
4.	東京PCB処理施設の解体撤去に係る方針等の策定	・・・21
5.	不要設備の先行解体撤去の状況	・・・22
6.	先行解体撤去作業・工事での解体撤去物の処理・払出しの実績	・・・27
7.	先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング	・・・30
8.	解体撤去工事への安全への取り組み	・・・37

# 0. PCB処理施設の解体撤去の概要 ：プラント設備の洗浄・PCBの除去分別

**安全安心を第一に実施します**

赤枠内の作業は、たてものの外から中に空気が  
流れるように管理しておこないます。  
**PCBが外に出ることはありません。**

- 1 配管やタンクの中や外についている高い濃度のPCBを、これまでと同じようにJESCO施設で処理しながら、作業の方が安全に解体できる基準まで取り除きます。

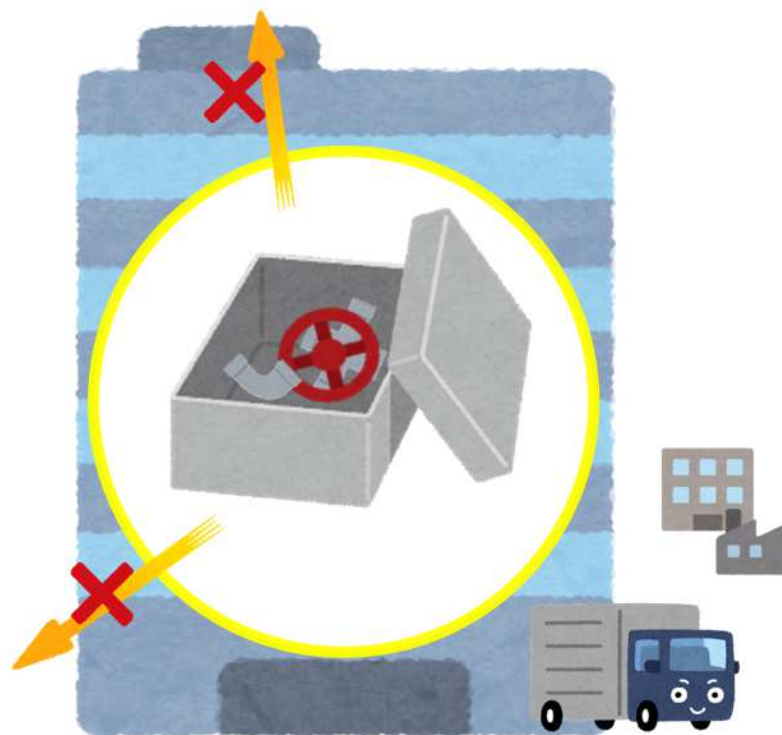


# 0. PCB処理施設の解体撤去の概要 ：プラント設備の解体撤去工事

**安全安心を第一に実施します**

赤枠内の作業は、たてものの外から中に空気が  
流れるように管理しておこないます。  
**PCBが外に出ることはありません。**

- ②** 配管やタンクなどを解体します。  
低い濃度のPCBがついたものは、鉄箱に  
入れたり2重に梱包するなどして施設から、  
処理先まで運び出します。



# 0. PCB処理施設の解体撤去の概要 ：建築物のPCBの除去分別

**安全安心を第一に実施します**

赤枠内の作業は、たてものの外から中に空気が  
流れるように管理しておこないます。  
**PCBが外に出ることはありません。**

**3** 壁、床、柱などたてものの内側に付いてい  
る低い濃度のPCBを取り除きます。



# 0. PCB処理施設の解体撤去の概要 ：建築物の解体撤去工事

**安全安心を第一に実施します**

**4 たてものを壊します。**





# 0. PCB処理施設の解体撤去の概要 ： 作業者の安全衛生の確保

**Q：PCBを取り除く作業は安全なの？**

**A：安全に作業できるように、扱うPCBの濃度や作業する部屋の中の状況によって、保護具を使い分けます。  
こういった保護具が必要かは、マニュアルで決めています。**

PCB以外にも、高いところでの作業や熱中症予防など様々な安全対策を講じます。

**管理するレベルに応じた保護具の例⇒**



# 1. 東京PCB処理施設 解体撤去：情報公開

JESCO東京PCB処理施設は、以下のURLのホームページから、解体撤去に関する情報を公開しております。

[東京PCB処理事業所 解体撤去情報 | 中間貯蔵・環境安全事業\(株\)\(JESCO\)](https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/page_00103.html)

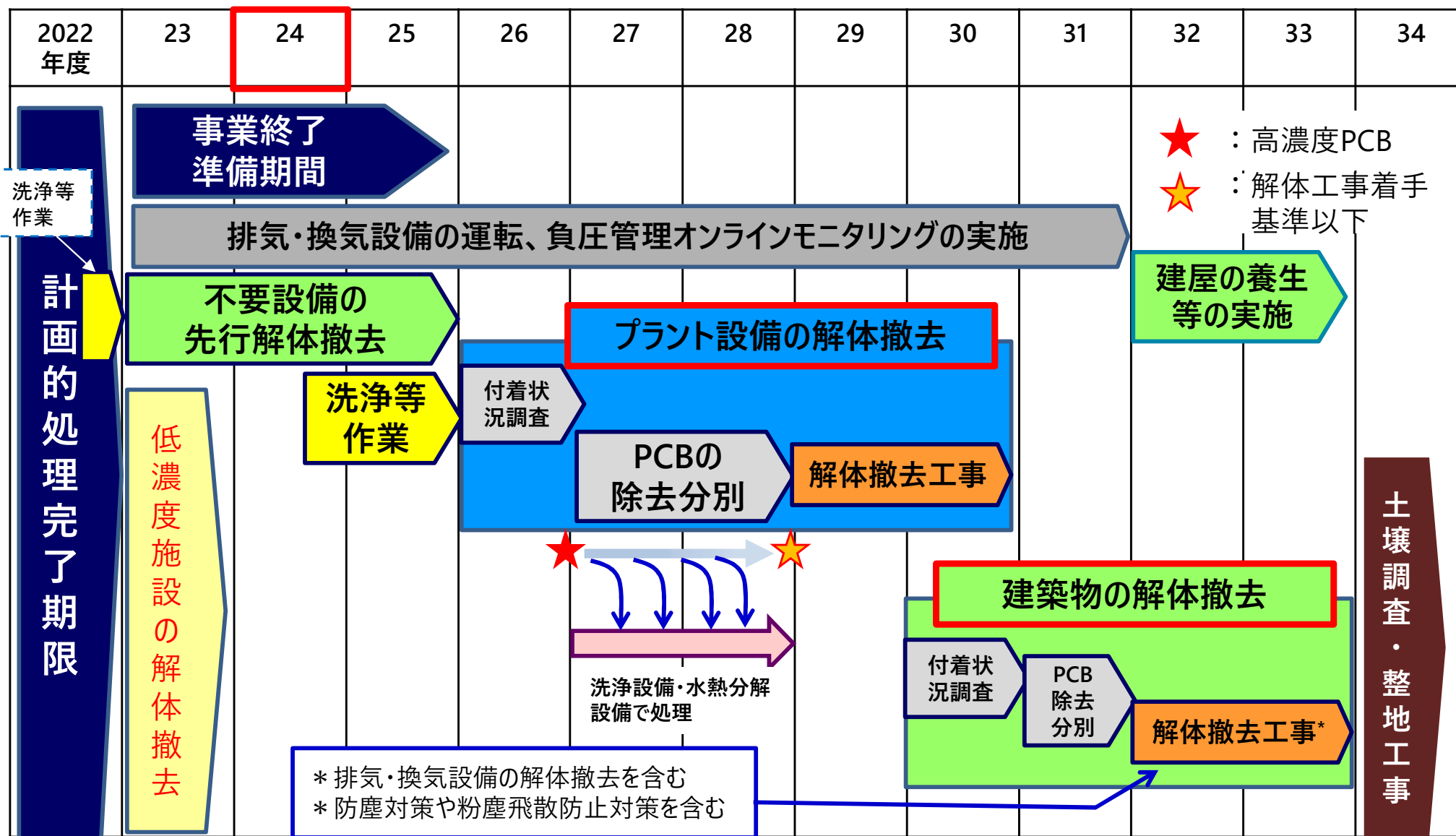
[https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/page\\_00103.html](https://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/page_00103.html)



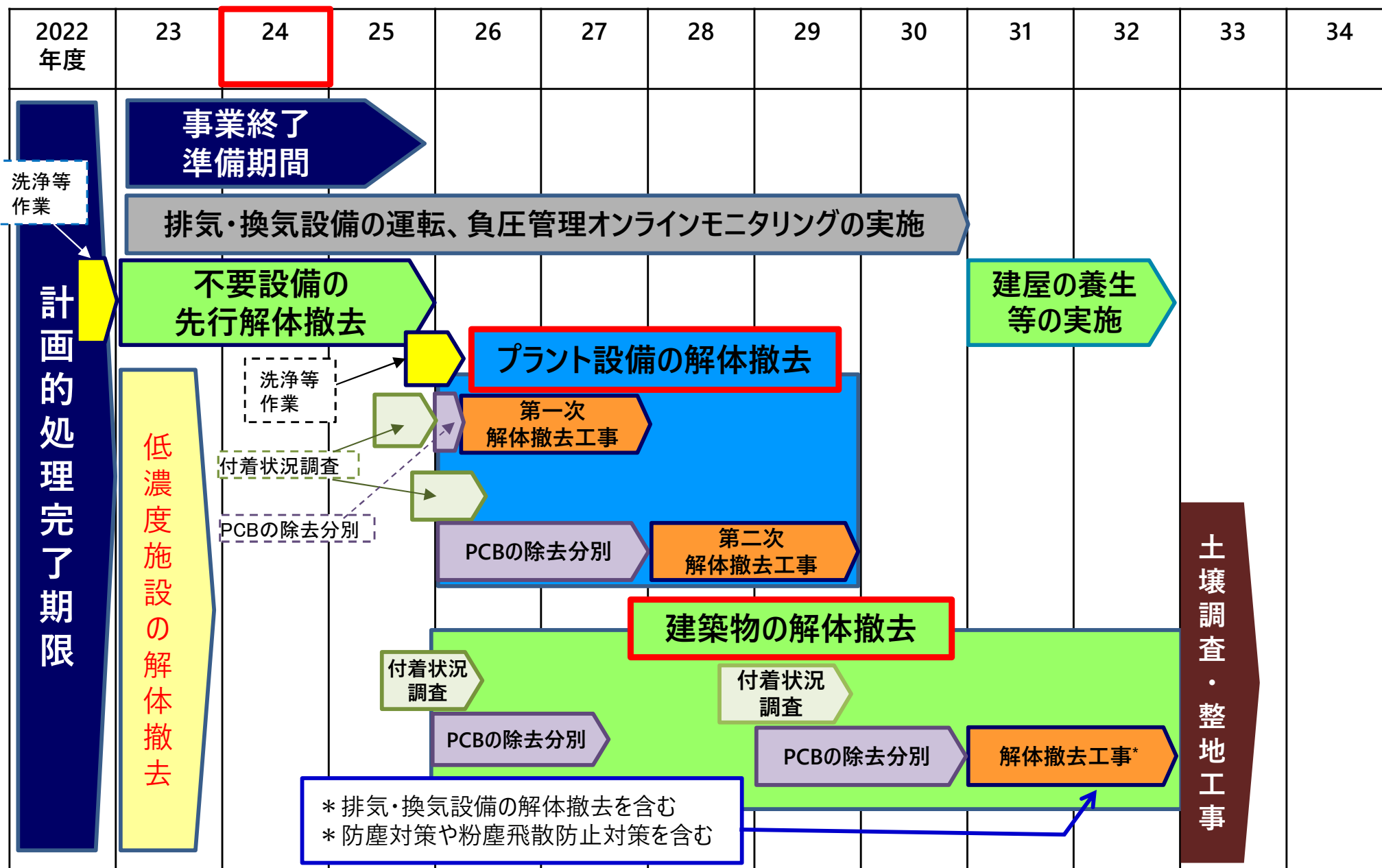

特例期間	事業終了準備期間				解体撤去期間	土壌調査 整地工事
2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	26～33年度	2034年度	
【リン含有PCB油前処理設備】						
		2024年3月にて完了				
【安定器等処理設備】						
【コンデンサ・解体設備】						
【鉄心コイル破砕・分別設備】						
【廃粉末活性炭スラリー化設備】						



# 1. 東京PCB処理施設 解体撤去：全体スケジュール 変更前

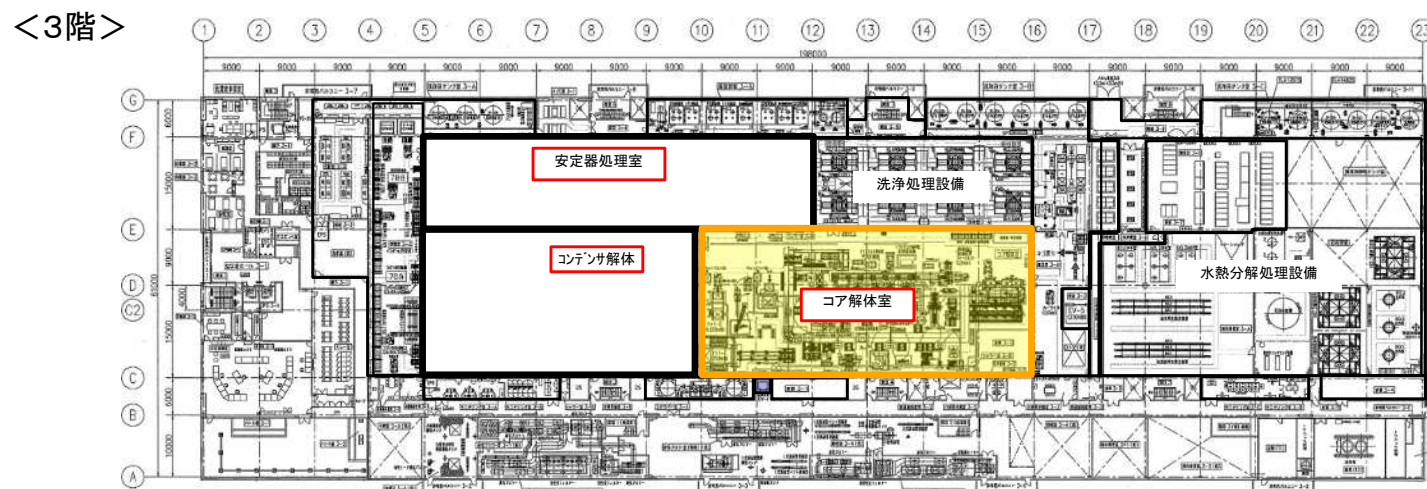
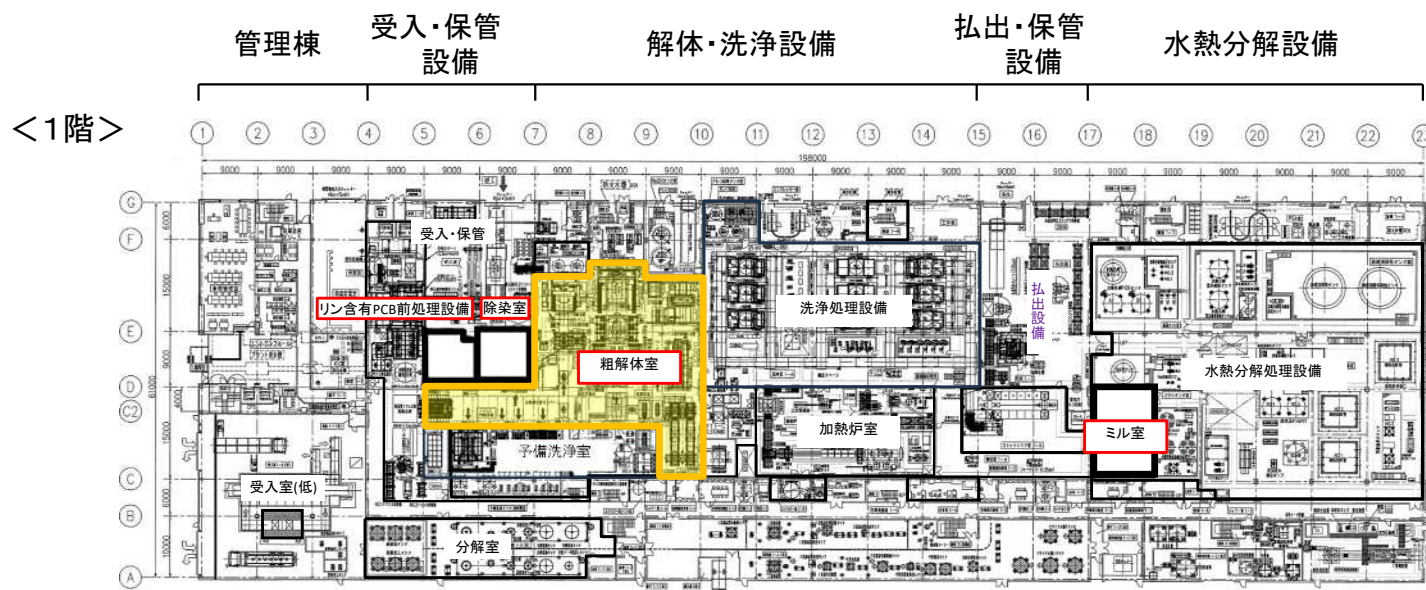


# 1. 東京PCB処理施設 解体撤去：全体スケジュール 変更後



# 1. 第一次解体撤去工事(2026～2027年度)

## 解体撤去物の平準化と仮保管場の確保



□ : 先行解体撤去による空きスペース □ : 第一次解体撤去工事

## 2. JESCO解体撤去の基本方針等

東京PCB処理事業所における解体撤去は、

JESCOが2021年11月に制定した

- ・PCB処理施設の解体撤去にあたっての基本方針
- ・JESCO解体撤去マニュアル(2024年9月改訂第2版)

に基づき、

PCB廃棄物処理事業検討委員会

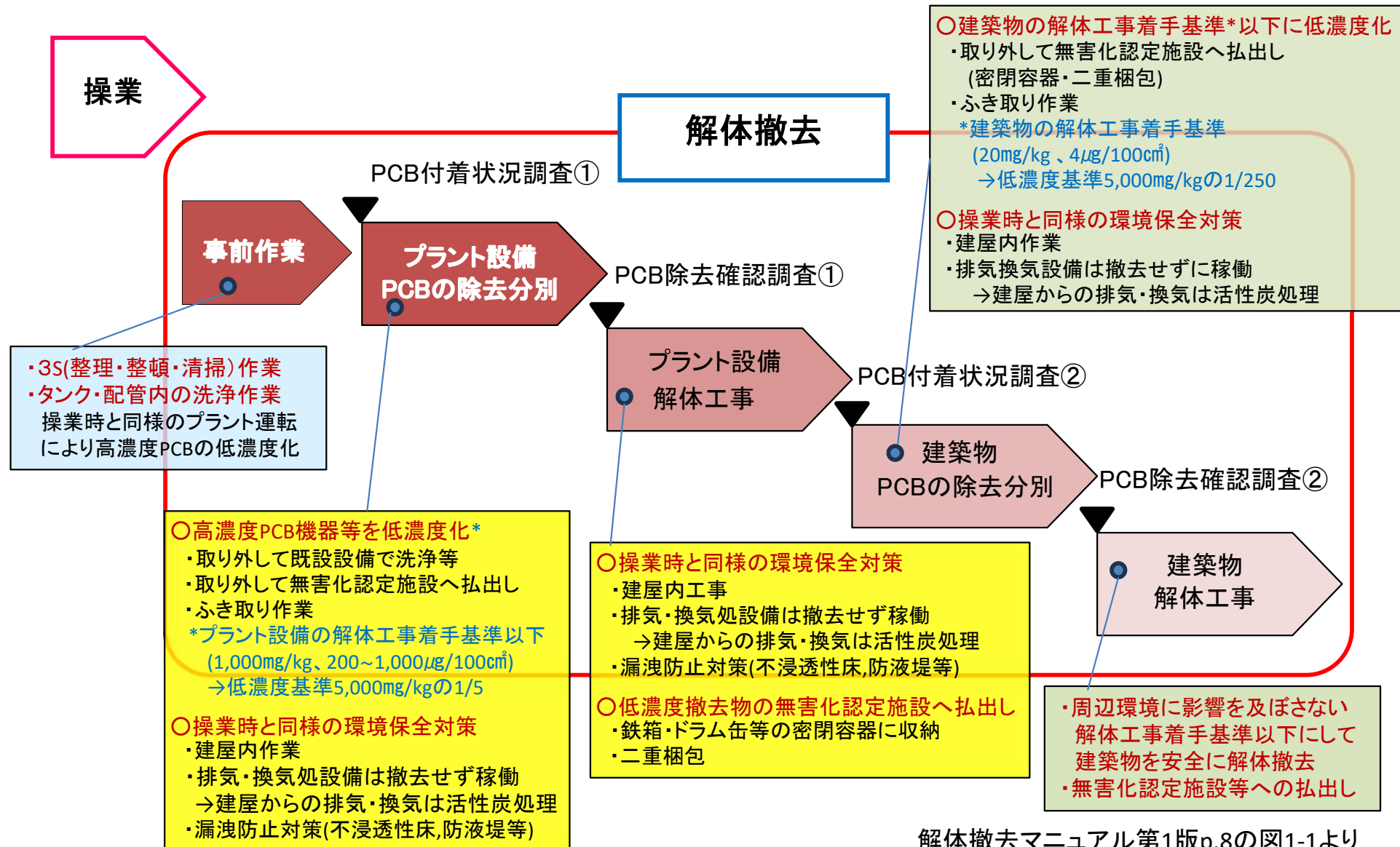
東京PCB処理事業部会(主査；永田勝也 早稲田大学名誉教授)

の指導・助言を頂きながら進めている。



# 3. 解体撤去の基本的な進め方

## 1) 基本フロー（解体撤去マニュアル）

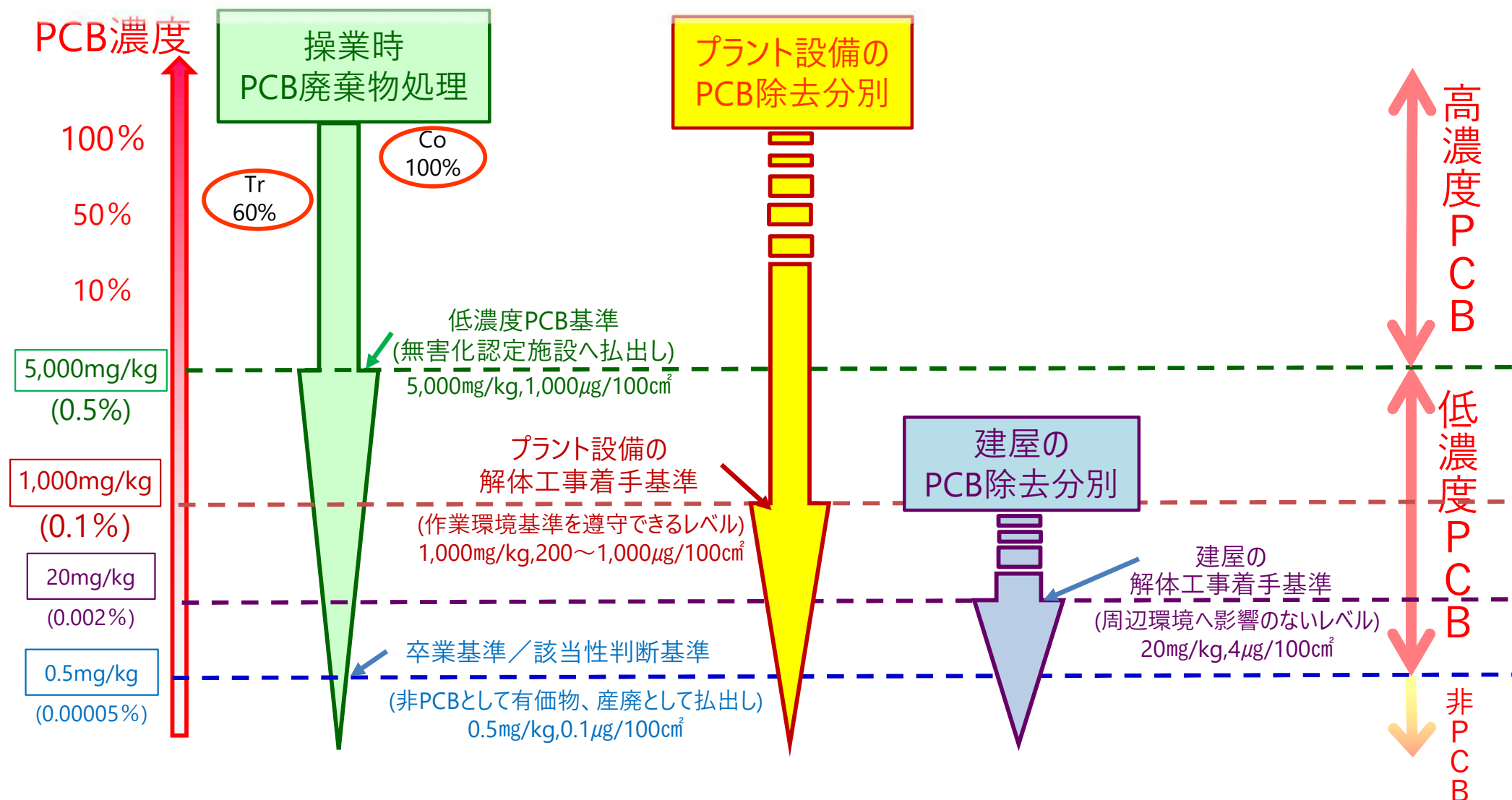




# 3. 解体撤去の基本的な進め方

## 2) PCBの除去分別における解体工事着手基準(解体撤去マニュアル)

- ・プラント設備の解体工事着手基準；作業環境基準を遵守できるレベル
- ・建屋の解体工事着手基準；敷地境界でPCB・DXNsの大気環境基準を遵守できるレベル



# 3. 解体撤去の基本的な進め方

## 3) 主要工程及び作業概要

### 〔高濃度〕

＜高圧トランス・コンデンサ、安定器等処理設備＞  
夫々の機器に絶縁油として使用されているPCBを水熱分解処理すると共に、容器及び構成部材を解体・洗浄等の無害化処理をする設備

高濃度PCBと低濃度PCBを取扱うエリアの間に通路を設け、コンタミを予防する。

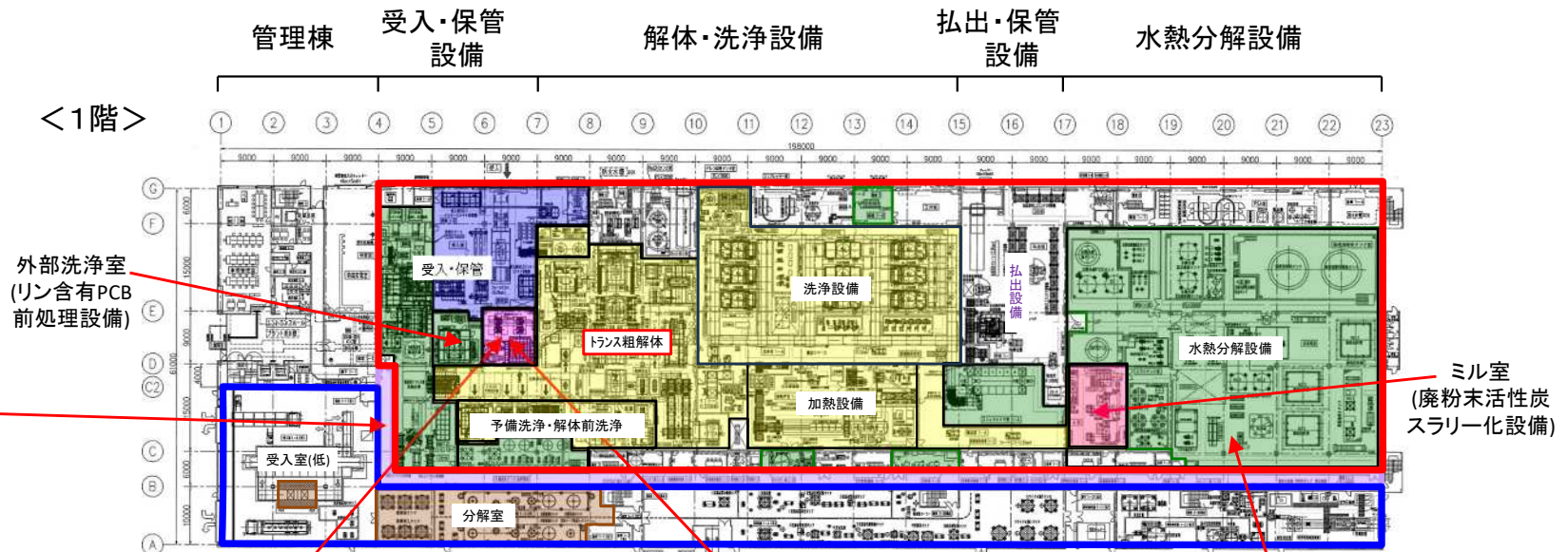
### 〔低濃度〕

＜柱状トランス処理設備＞  
柱状トランスに使用されているPCBを数十ppm含有した低濃度PCB汚染絶縁油汚染絶縁油を処理する設備  
柱状トランスより絶縁油を抜出して脱塩素化処理をする。トランス本体は別施設で処理する。

作業者が常駐する解体作業室

- : レベル3
- : レベル2
- : レベル1
- : レベル1相当
- : 一般PCB管理

＜1階＞

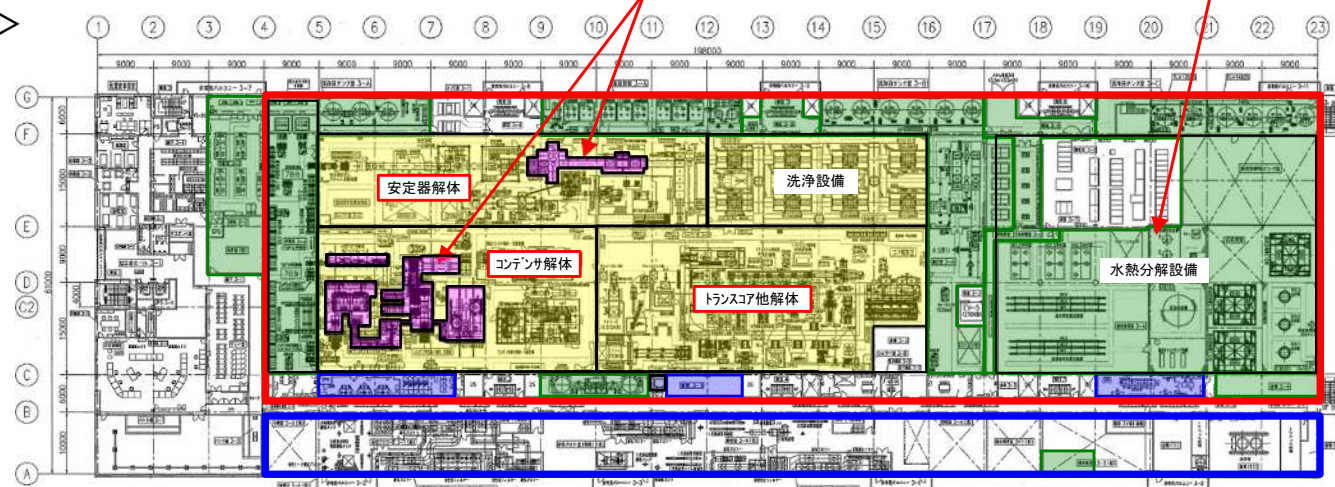


除染室(非常常作業)  
受入時に漏洩が確認された対象品について液拭き・リーク穴補修・外面拭取り等の処置をする部屋

高濃度PCB取扱範囲  
通常処理工程では高濃度PCBを取扱う範囲は区画して遠隔操作やグローブボックスを介しての作業とし、作業員が直接高濃度PCBを取扱うことのないようにしている(直接作業は予備洗浄によりPCB濃度を低減した後)。

水熱分解設備は自動運転であり、通常は水熱分解施設周りに作業員はいない

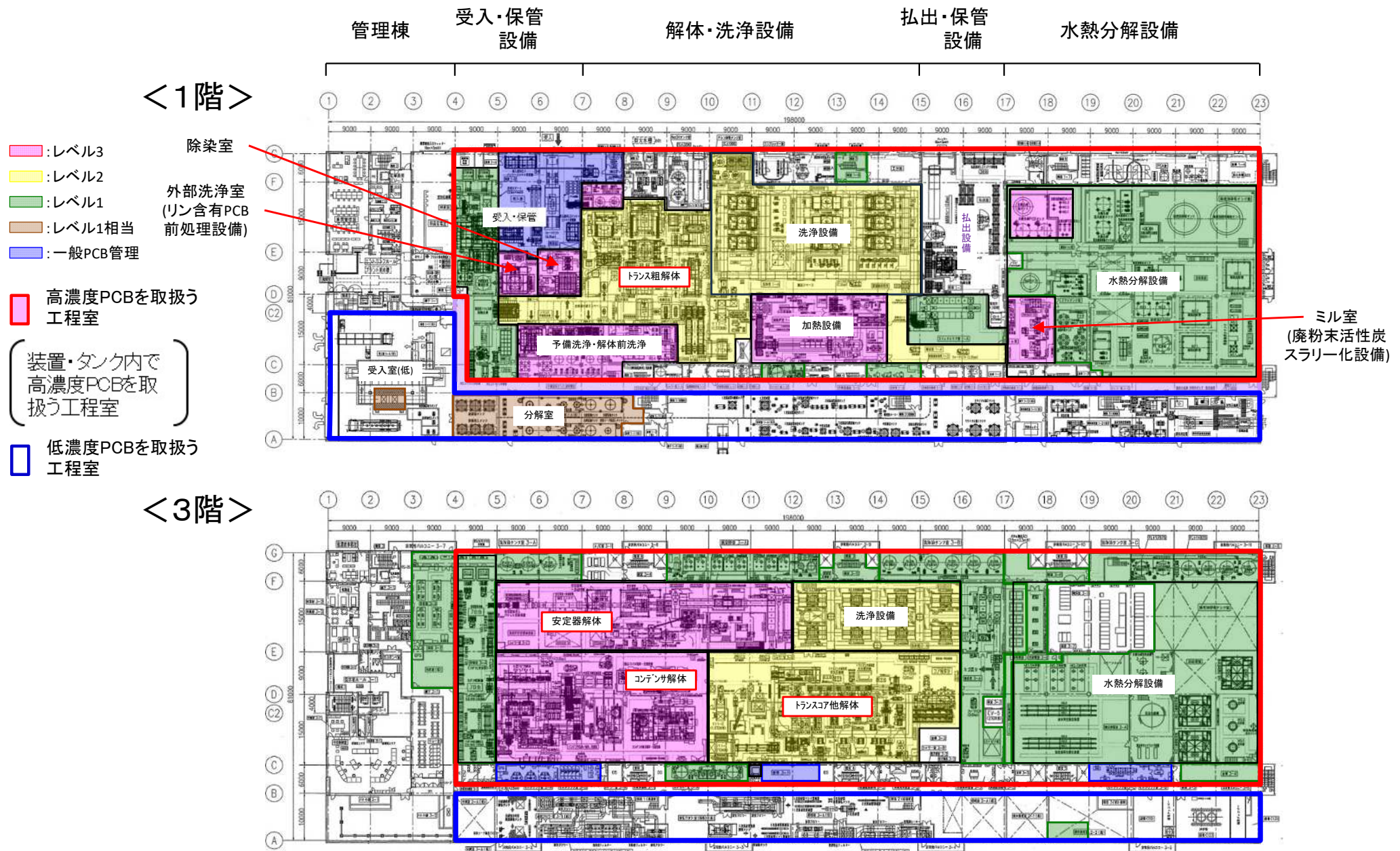
＜3階＞





# 3. 解体撤去の基本的な進め方

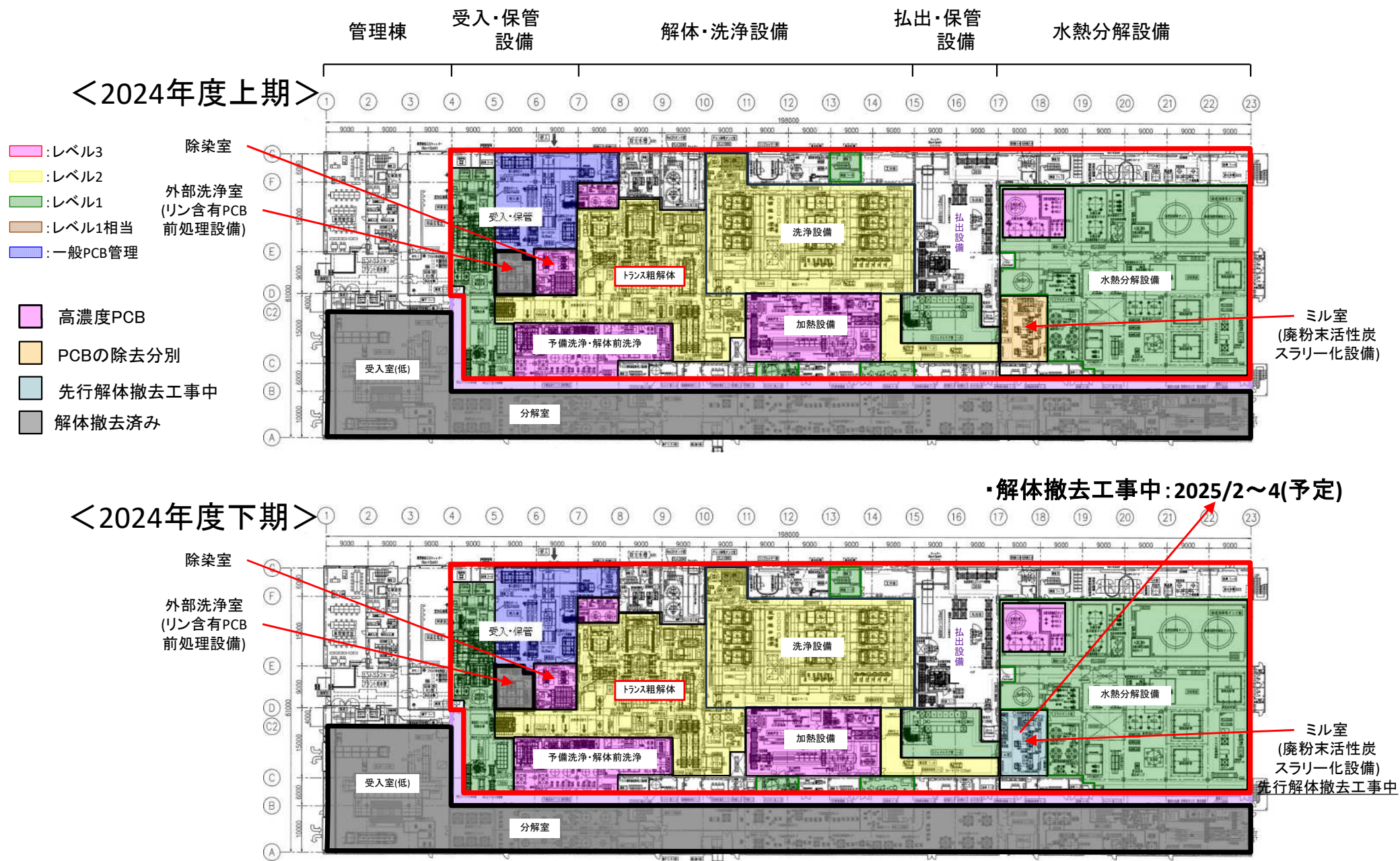
## 4) 高濃度PCBを取扱う「工程室」(通常操業時)





# 3. 解体撤去の基本的な進め方

## 5) 高濃度PCBを取扱う「工程室」(1階)



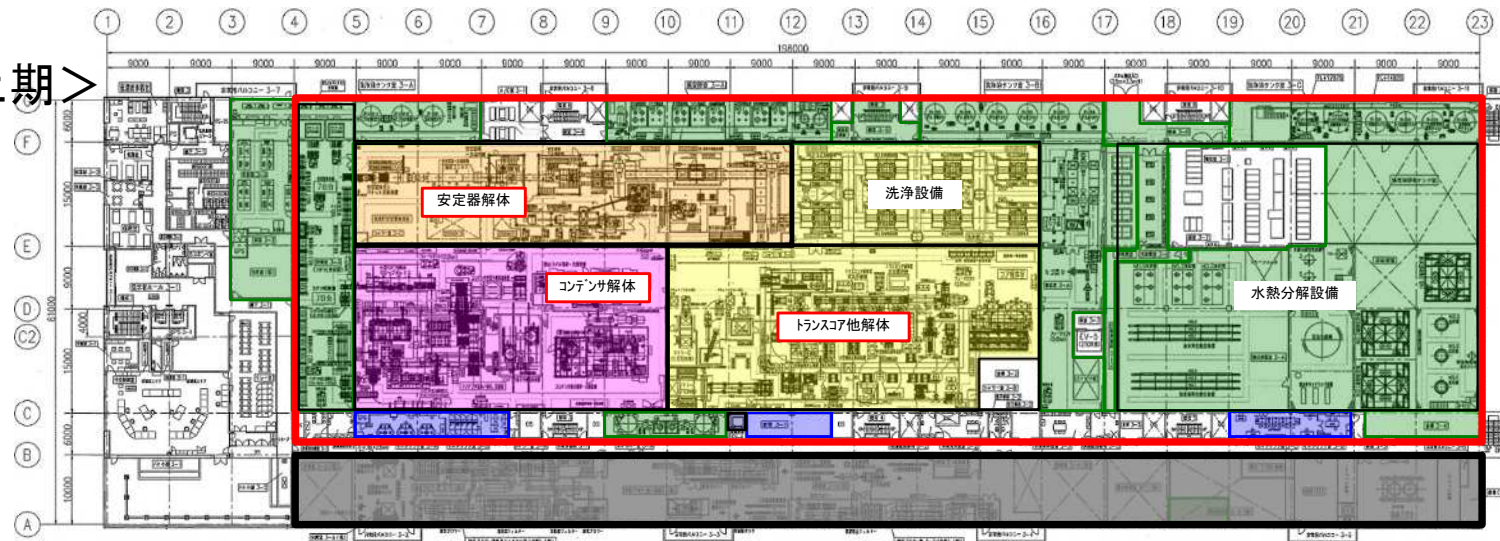


# 3. 解体撤去の基本的な進め方

## 5) 高濃度PCBを取扱う「工程室」(3階)

### <2024年度上期>

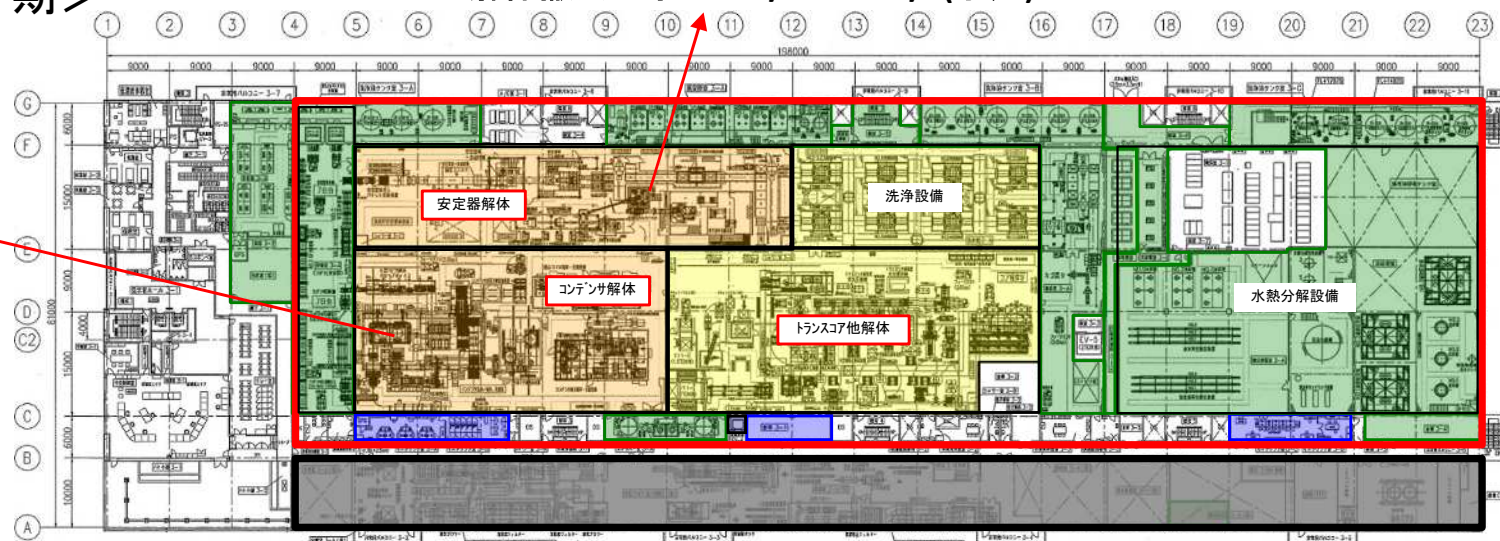
- レベル3
- レベル2
- レベル1
- レベル1相当
- 一般PCB管理
- 高濃度PCB
- PCBの除去分別
- 先行解体撤去工事中
- 解体撤去済み



### <2024年度下期>

- PCBの除去分別中:  
2025/1~9(予定)

- PCBの除去分別終了: 2025/1
- 解体撤去工事: 2025/3~2026/2(予定)





### 3. 解体撤去の基本的な進め方

#### 6) 作業者の安全衛生の確保（解体撤去マニュアル）

- 解体撤去マニュアルに従い、解体撤去管理レベルを設定し、レベルに応じた適切な保護具を装着して作業・工事を実施する。

解体マニュアル p.31 表4-1 プラント設備解体撤去工事の解体撤去管理レベルの整理

項目	PCB付着レベル PCB 作業環境濃度 [ $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ]	高濃度PCB付着 レベル	低濃度PCB付着 レベル	適当性判断基準以下	
PCB 開放状態	10超	レベルIII	レベルIII	レベルIII	
	0.5以上10以下	レベルIII	レベルII	レベルI	
	0.5未満	レベルIII	レベルII	一般区域	非管理
PCB 非開放状態	0.5以上10以下	レベルI	レベルI	レベルI	
	0.5未満	一般区域	一般区域	一般区域	非管理

### 3. 解体撤去の基本的な進め方

#### 7) 作業者の安全衛生の確保

- 解体撤去管理レベルに応じた保護具の例（解体撤去マニュアル）



図 9-1 解体撤去管理レベルⅠの保護具の例



図 9-2 解体撤去管理レベルⅡの保護具の例



図 9-3 解体撤去管理レベルⅢの保護具の例

## 4. 東京PCB処理施設の解体撤去に係る方針等の策定

東京PCB処理施設の解体撤去にあたり策定した方針等は以下の通りである。  
策定にあたっては、東京PCB処理事業部会で専門的な見地から審議頂き、  
指導・助言を得ながら進めている

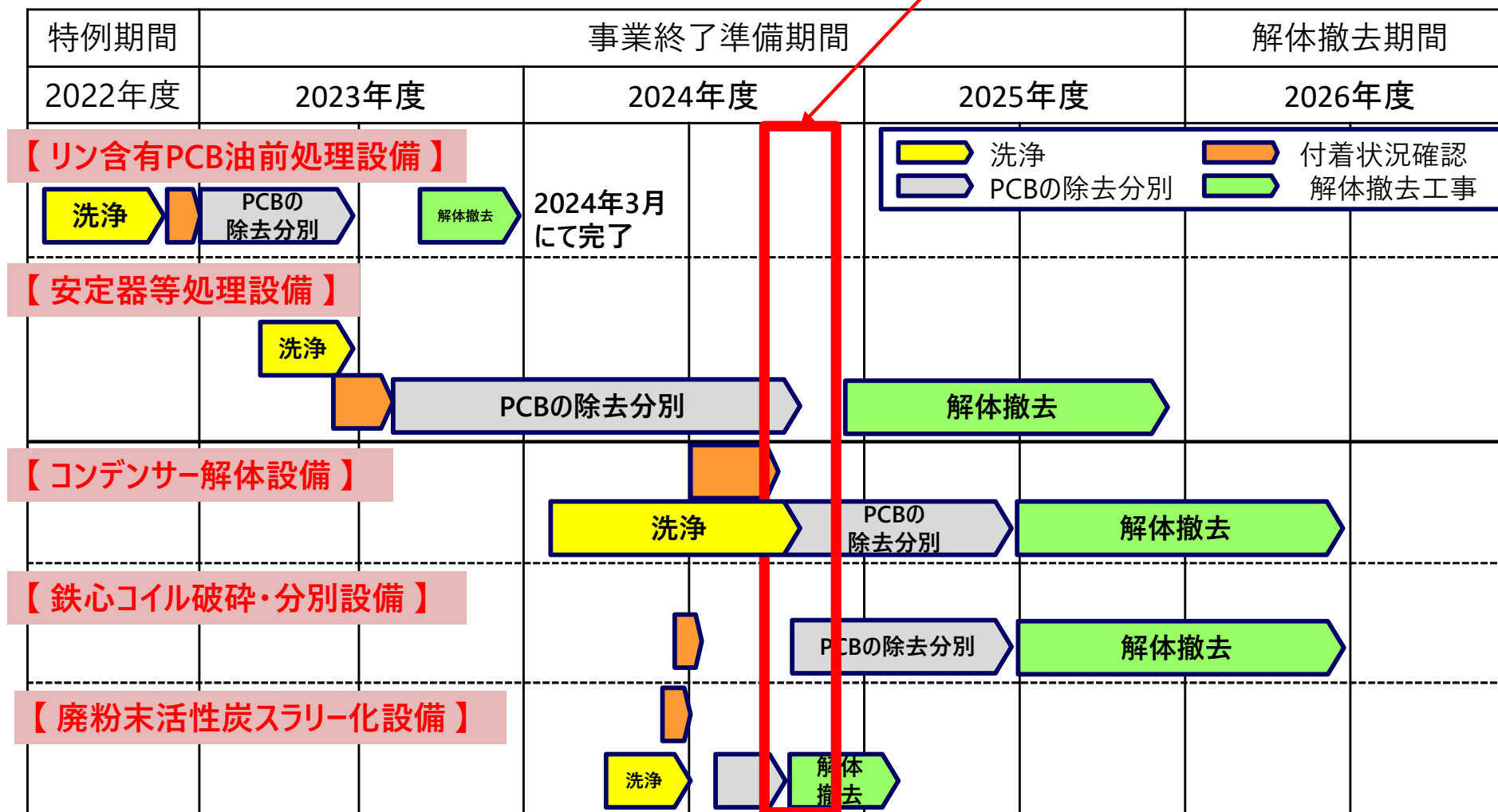
\*( )内は部会承認年月

- ・東京PCB処理事業所  
PCB廃棄物処理施設の解体撤去計画の概要 (2022/12制定、2025/3改訂)
- ・東京PCB処理事業所  
不要設備に対する先行解体撤去工事の実施のための指針(2022/12制定,2025/3改訂②)
- ・東京PCB処理事業所  
不要設備の先行解体撤去工事の実施計画書 (2023/10制定、2024/10改訂②)
- ・東京PCB処理事業所  
PCB処理施設の解体撤去における排出源モニタリング及び周辺環境モニタリング  
に関する基本的対応 (2023/10制定)
- ・東京PCB処理施設の解体撤去工事における対応の原則 (2024/8制定)
- ・設備・装置・機器及び建築物等の解体撤去工事における重要な原則 (2024/8制定)

# 5. 不要設備の先行解体撤去の状況

## 1) 先行解体撤去の進捗状況

前回2024/12報告以降の状況



# 5. 不要設備の先行解体撤去の状況

## 2) 東京PCB処理事業部会での審議状況

東京PCB処理事業部会で、先行解体撤去の各作業・工事ごとに計画書、結果報告書を審議いただき、専門的な指導・助言を得ながら安全・確実に進めている。

計画書：予定□ 実績■  
途中経過報告：予定△ 実績▲  
報告書：予定○ 実績●

解体撤去対象設備	審議対象	東京PCB処理事業部会 開催日								
		2022年度			2023年度			2024年度		
		①8/1	②10/31	③3/9	①8/10	②10/30	③2/29	①8/5	②10/23	③3/10
リン含有PCB油 前処理設備	洗浄		■	●						
	付着状況調査		■	●						
	PCBの除去分別			■	▲	●				
	解体撤去工事				■			●		
安定器等 処理設備	洗浄			■		●				
	付着状況調査			■	■	●				
	PCBの除去分別					■		▲	▲	●
	解体撤去工事								■	
コンデンサー 解体設備	洗浄						■	▲	▲	●
	付着状況調査						■	▲	▲	●
	PCBの除去分別								■	▲
	解体撤去工事									
鉄心コイル 破碎・分別設備	付着状況調査						■		●	
	PCBの除去分別								■	▲
	解体撤去工事									
廃粉末活性炭 スラリー化設備	洗浄						■		●	
	付着状況調査						■		●	
	PCBの除去分別								■	●
	解体撤去工事								■	▲





# 5. 不要設備の先行解体撤去の状況

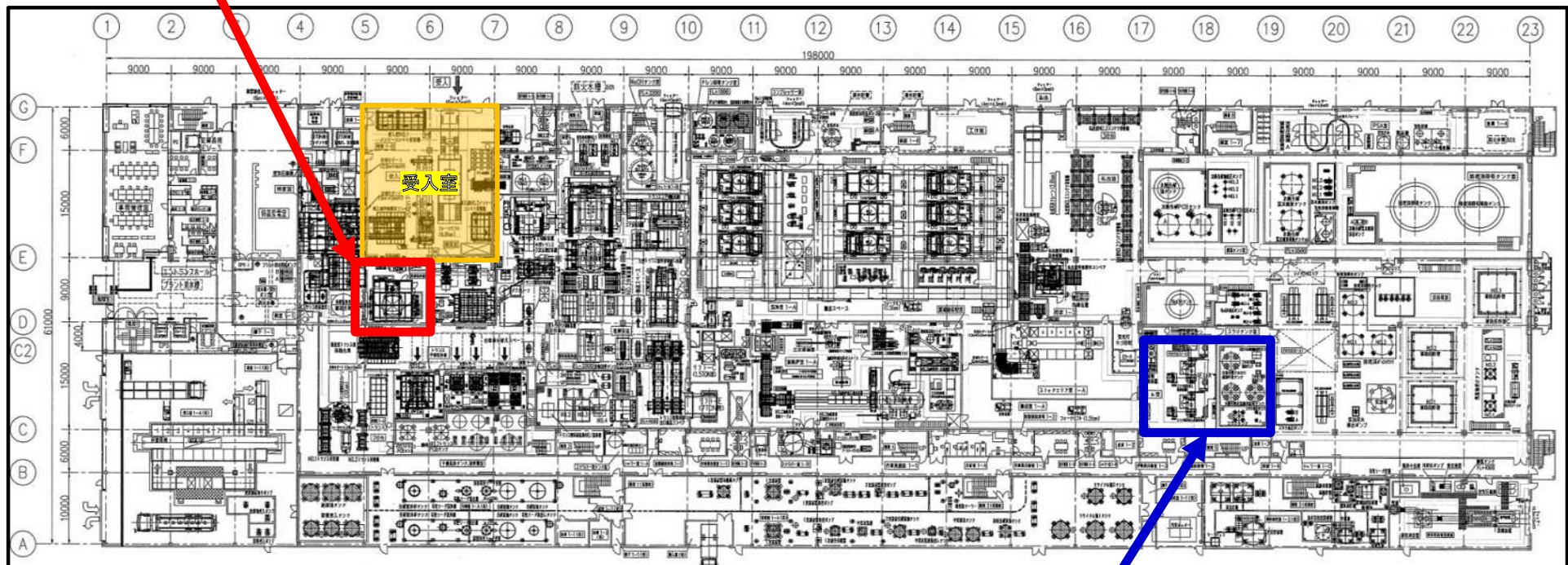
## 3) 先行解体対象設備の設置場所

(1 階)

リン含有PCB前処理設備(81m<sup>2</sup>)

・撤去済:2024/3

 ;不要設備(2022/10/31選定)  
 ;不要設備(2023/10/30選定)



廃粉末活性炭スラリー化設備(270m<sup>2</sup>)

・解体撤去工事中:2025/2~4(予定)

# 5. 不要設備の先行解体撤去の状況

## 4) 先行解体対象設備の設置場所



(3 階)

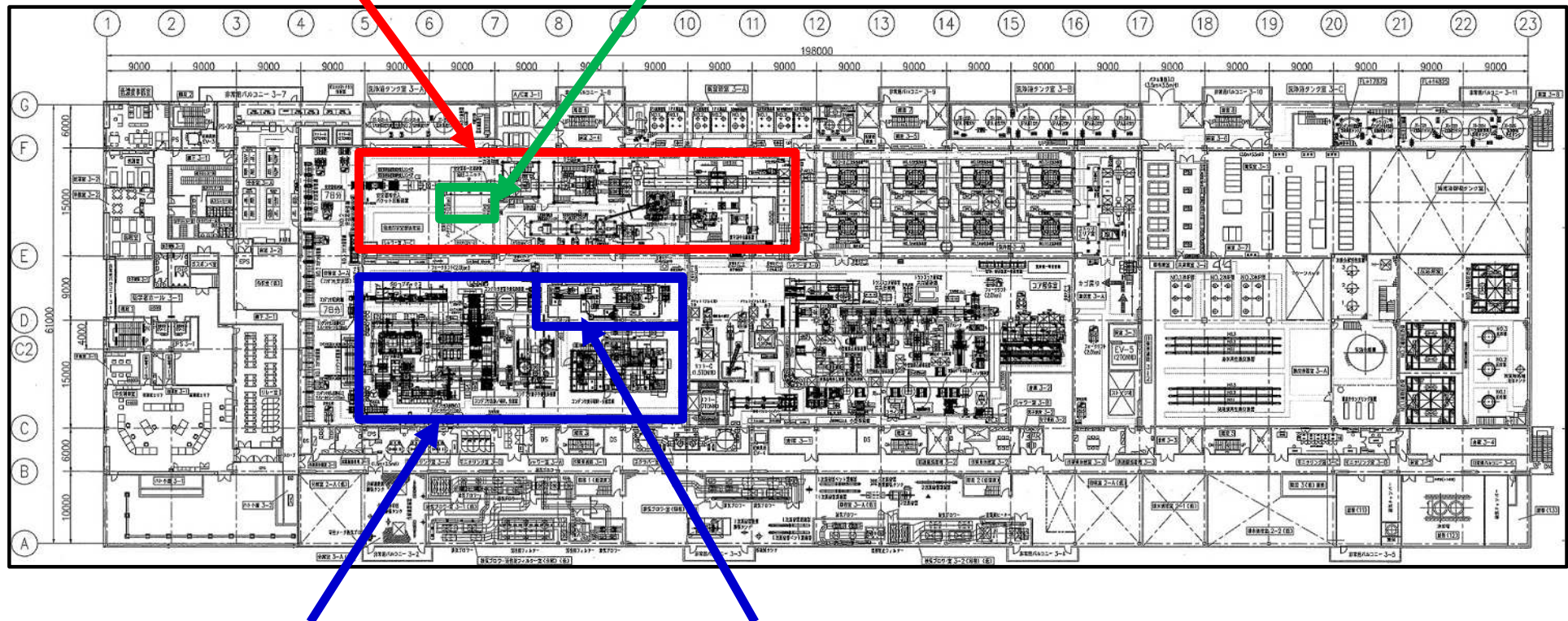
安定器等処理設備(880m<sup>2</sup>)

・PCBの除去分別終了:2025/1

・解体撤去工事:2025/3~2026/2(予定)

マシンハッチ(2.5m × 4m)

 ; 不要設備(2022/10/31選定)  
 ; 不要設備(2023/10/30選定)



コンデンサー解体設備(920m<sup>2</sup>)

・PCBの除去分別中:2025/1~9(予定)

鉄心コイル・破砕分別設備(160m<sup>2</sup>)

・PCBの除去分別中:2025/1~9(予定)



## 5. 不要設備の先行解体撤去の状況

### 5) 先行解体撤去における作業環境

#### ■ 先行解体撤去における作業環境濃度及び解体撤去管理レベル

先行解体撤去設備	作業内容	PCB付着レベル	PCB作業環境濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ) *管理基準10	解体撤去管理レベル
安定器等処理設備	PCBの除去分別	低濃度	$<0.5 \sim 4.1$	レベルII
コンデンサー解体設備	PCBの除去分別	低濃度	$4.0 \sim 16$	レベルII～III*
鉄心コイル破碎・分別設備	PCBの除去分別	低濃度	3.3	レベルII
廃粉末活性炭スラリー化設備	解体撤去工事	低濃度	$<1.0$	レベルII

\*レベルIIIは作業環境濃度が $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超過している作業

## 6. 先行解体撤去作業・工事での解体撤去物の 処理・払出しの実績

### ■解体撤去物(事業所内処理物)、元請会社による払出しの実績

#### 解体撤去物(事業所内処理物)の月別処理実績

月度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024年度 累計*1
解体撤去物 処理重量(kg) (事業所内処理物)	洗浄処理・ 有価物	567	0	1,600	3,774	7,152	5,526	2,856	9,753	2,156	1,522	2,060	29,713	66,679
	洗浄処理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	加熱処理・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*1 2024年度2月までを示す。

#### 解体撤去物( PCB付着なし)で元請業者による有価物・産業廃棄物の 月別搬出実績

月度		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024年度 累計*1
廃材搬出重量(kg)	PCB付着なし・ 有価物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	PCB付着なし・ 産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\*1 2024年度2月までを示す。

## 6. 先行解体撤去作業・工事での解体撤去物の処理・払出しの実績

### ■解体撤去物(低濃度汚染物)の搬出実績

解体撤去工事に伴って発生する解体撤去物(低濃度汚染物)の搬出については、初回搬出時に東京都、江東区と協議し、あらかじめ安全な運搬についてご理解を得た上で進めている。

なお、二次廃棄物(低濃度汚染物)の月間搬出量の取り決めとは別に、解体撤去物の数量把握を実施し、東京都、江東区への定例の月次報告書において月間払出数量を報告している。

#### 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の月別搬出状況

月度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	2024年度累計
解体撤去物 搬出重量 (kg)	5,356	232	184	359	406	501	1728	848	412	1,800	986	32,931	45,743

#### 解体撤去に係る二次廃棄物(低濃度汚染物)の年度別搬出状況

年度	2023	2024	累計
解体撤去物 搬出重 (kg)	60,846	45,743	106,589



## 6. 先行解体撤去作業・工事での解体撤去物の 処理・払出しの実績

### ■ 解体撤去物(低濃度汚染物)の搬出実績

解体撤去に係る二次汚染物(低濃度汚染物)の搬出状況

2024年	種別	荷姿	数量	トラック台数
4月	解体撤去物	運搬容器	5.356	1台
5月	二次廃棄物	プラ容器	0.147	1台
		ドラム缶	0.085	1台
6月	二次廃棄物	ドラム缶	0.184	1台
7月	二次廃棄物	ドラム缶	0.049	1台
		プラ容器	0.31	1台
8月	二次廃棄物	ドラム缶	0.335	2台
		プラ容器	0.071	1台
9月	二次廃棄物	ドラム缶	0.501	2台
上期計			7.038	11台
10月	解体撤去物	ドラム缶	0.566	1台
	二次廃棄物	ドラム缶	0.897	2台
		プラ容器	0.265	1台
11月	二次廃棄物	ドラム缶	0.848	5台
12月	二次廃棄物	ドラム缶	0.286	3台
		プラ容器	0.126	1台
1月	二次廃棄物	ドラム缶	0.783	3台
		プラ容器	1.017	1台
2月	二次廃棄物	ドラム缶	0.701	2台
		プラ容器	0.285	1台
3月	解体撤去物	運搬容器	31.974	3台
	二次廃棄物	ドラム缶	0.784	3台
		プラ容器	0.173	1台
下期計			38.705	27台
合計			45.743	38台

搬出業者: 三光(株)、群桐エコロ(株)、神戸環境クリエート、三池製煉(株)、  
光和精鉱(株)、杉田建材(株)

## 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

- 先行解体撤去工事に係る排出源モニタリングについては、「東京PCB処理施設の解体撤去における排出源モニタリング及び周辺環境モニタリングに関する基本的対応」(2023.10.30承認、東京事業部会、以下「解体撤去でのモニタリングの基本的対応という)に基づいて実施。  
2024年度は通年に渡って対象作業・工事を実施することから、対象期間2024年4月～2025年3月の間に1回/3か月のモニタリングを実施。

モニタリング対象作業・工事とモニタリング対象期間の関係

対象設備	作業内容	2024 年度上期						2024 年度下期					
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
安定器等 処理設備	PCB 除去分別	2023 年度 11 月～2024 年度 12 月											
	解体撤去							2024 年度 3 月～2025 年度 2 月(予定)					
コンデンサー 解体設備	洗浄	2024 年度 4 月～2024 年度 12 月											
	PCB 除去分別							2024 年度 1 月～2025 年度 9 月(予定)					
鉄心コイル 破砕・分別設備	PCB 除去分別							2024 年度 1 月～2025 年度 9 月(予定)					
廃粉末活性炭 スラリー化設備	洗浄	2024 年度 7 月～2024 年度 9 月											
	PCB 除去分別							2024 年度 11 月～2024 年度 1 月					
	解体撤去							2024 年度 2 月～2025 年度 4 月(予定)					
測定月	排出源モニタリング	○□△			○□△			○□△			○□△		
	周辺環境モニタリング	●■			●■			●■			●■		

凡例:  洗浄  PCB 除去分別  解体撤去

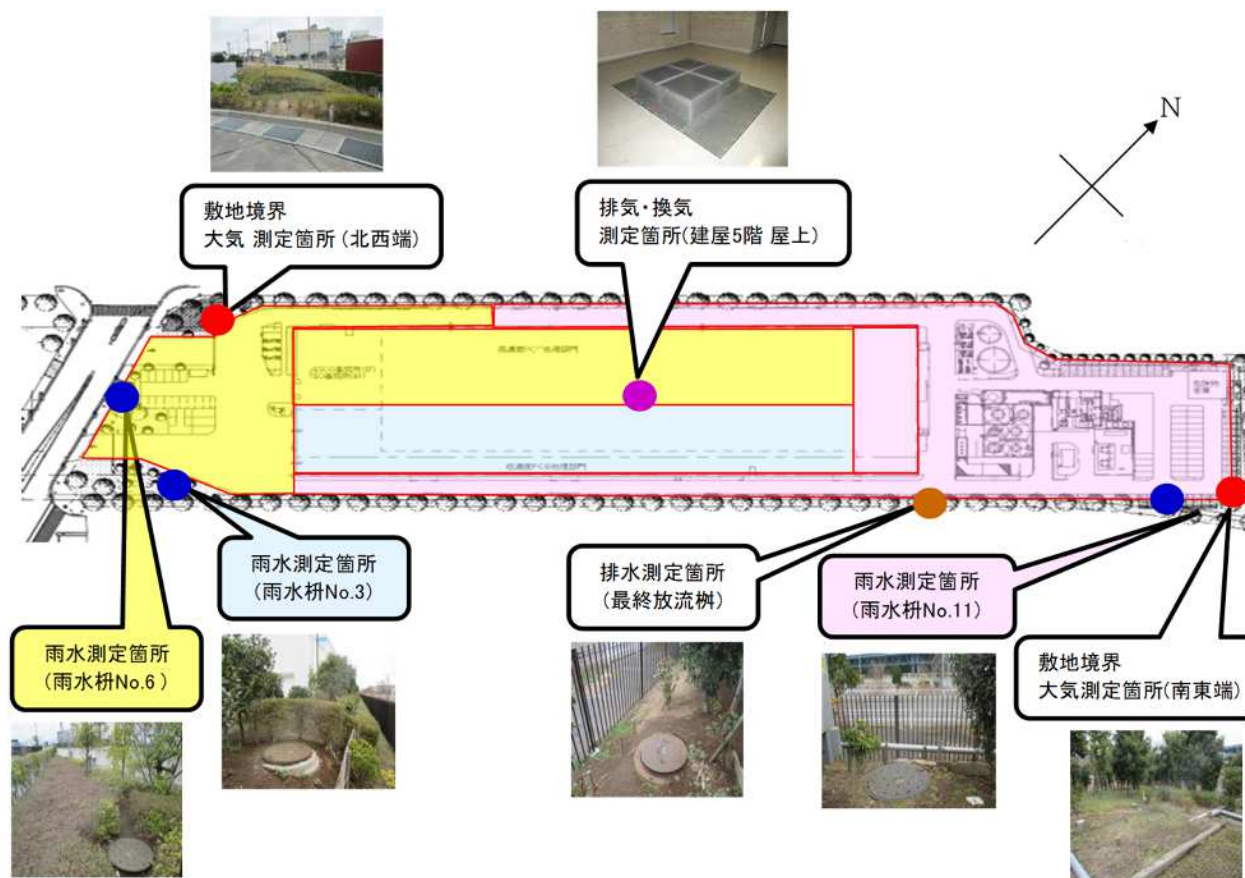
排出源モニタリング : 排気・換気: ○、排水: □、雨水: △

周辺環境モニタリング: PCB: ●、DXNS: ■

## 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

### ■測定

測定位置は、本委員会資料1の「4. 操業中の排出源モニタリング  
及び周辺環境モニタリング」に示す箇所である。

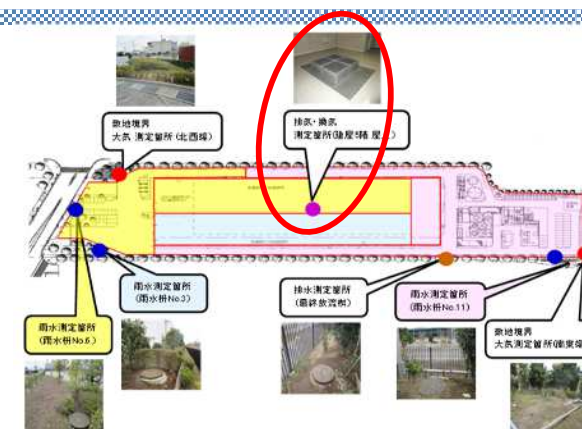


敷地境界大気質及び雨水排水枡の測定位置

# 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

## ■ 排出源モニタリング：排気・換気

すべて「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」  
における評価基準を満足している。



## 排気・換気の測定結果(2024年度)

測定場所	測定項目	単位	測定結果(2024年度) <sup>1)</sup>				測定結果 (2020～22年度の範囲) <sup>2)</sup>	評価基準 <sup>3)</sup>	2024年度の 測定回数 <sup>4)</sup>
			4/10,11	7/16,17	10/2,3	1/22,23			
排気系統1 (水熱分解・ 洗浄系)	PCB	mg/Nm <sup>3</sup>	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満～0.0010	0.01以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.0013	0.0026	0.0028	0.13	0.0025～1.1	100以下	年4回
	IPA	ppm	0.1未満	0.3	0.6	0.1未満	0.1未満～0.4	40以下	年4回
排気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm <sup>3</sup>	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満～0.0017	0.01以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.16	0.26	0.46	0.29	0.55～17	100以下	年4回
換気系統1 (水熱分解・ 洗浄系)	PCB	mg/Nm <sup>3</sup>	0.00009	0.00015	0.00009	0.00013	0.00005未満～0.00030	0.001以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.13	0.011	0.091	0.085	0.013～0.15	5以下	年4回
換気系統2 (解体系)	PCB	mg/Nm <sup>3</sup>	0.00008	0.00011	0.00010	0.00007	0.00007～0.00028	0.001以下	年4回
	DXNs	pg-TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.011	0.028	0.17	0.044	0.023～0.70	5以下	年4回

1) 測定頻度は、PCBの除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。

2) 作業時の対比データとして掲載。

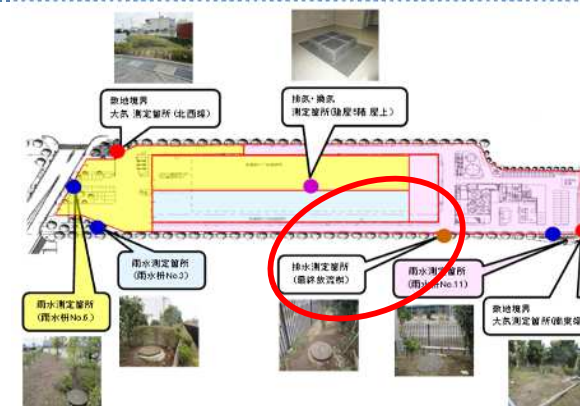
3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す評価基準。

4) 2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

# 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

## ■排出源モニタリング：排水

すべて「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」  
における評価基準を満足している。



## 排水の測定結果(2024年度)

測定項目	単位	測定結果(2024年度) <sup>1)</sup>				測定結果(2020 ～ 22年度の範囲) <sup>2)</sup>	評価基準 <sup>3)</sup>	2024年度の 測定回数 <sup>4)</sup>
		4/17	7/23	10/2	1/23			
PCB	mg/l	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0015以下	年4回
pH	—	8.4	8.3	7.9	8.0	7.4～8.1	5を超え9未満	年4回
n-Hex抽出物質	mg/l	1未満	1未満	1未満	1未満	1以下	5以下	年4回
BOD	mg/l	0.5未満	2.6	0.7	0.8	0.5未満～7.4	600未満	年4回
SS(浮遊物質)	mg/l	1	2	2	1未満	1未満～14	600未満	年4回
N(全窒素)	mg/l	3.4	6.9	6.5	5.9	2.6～7.9	120未満	年4回
DXNs <sup>1)</sup>	pg-TEQ/l	0.69	0.038	1.2	0.76	0.011～1.3	5以下	年4回
Zn(亜鉛)	mg/l	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.09	0.05未満～0.28	2以下	年4回
P(リン)	mg/l	0.06未満	0.13	0.06未満	0.06	0.06未満～0.24	16未満	年4回

1) 測定頻度は、PCBの除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。いずれも作業時のデータと共通に扱っている。

2) 作業時の対比データとして掲載。

3) 「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す評価基準。

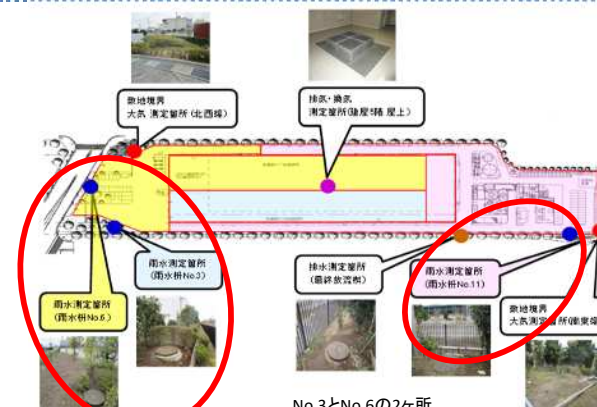
4) 2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。



# 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

## ■排出源モニタリング：雨水

すべて「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」  
における評価基準を満足している。



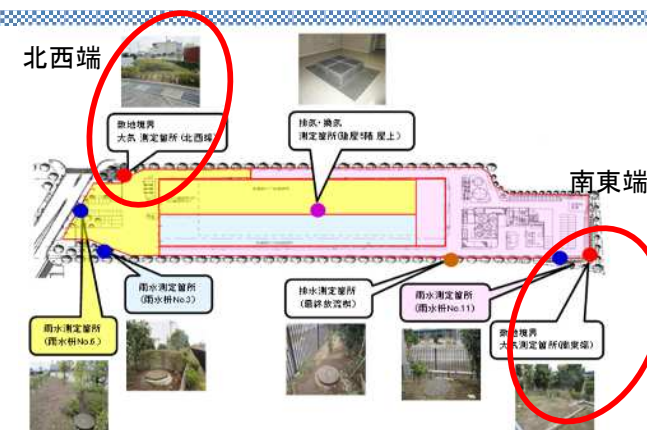
雨水のPCB及びダイオキシンの測定結果

測定箇所	測定項目	単位	測定日 <sup>1)</sup>	測定結果	評価基準 <sup>3)</sup>	2024年度の 測定回数 <sup>4)</sup>
No.3雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			2025.1.23	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.57	5以下	年4回
			2024.7.23	0.011		
			2024.10.7	3.1		
2025.1.23			1.2			
(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>			0.012～3.0			
No.6雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			2025.1.23	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.015	5以下	年4回
			2024.7.23	0.010		
			2024.10.7	0.71		
2025.1.23			1.7			
(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>			0.16～3.4			
No.11雨水枡	PCB	mg/ℓ	2024.4.17	0.0005未満	0.0015以下	年4回
			2024.7.23	0.0005未満		
			2024.10.7	0.0005未満		
			2025.1.23	0.0005未満		
			(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.0005未満		
	DXNs	pg-TEQ/ℓ	2024.4.17	0.22	5以下	年4回
			2024.7.23	0.35		
			2024.10.7	0.77		
2025.1.23			0.53			
(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>			0.090～3.3			

No.3とNo.6の2ヶ所

## 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

■ **周辺環境モニタリング：敷地境界の大気質(PCB)**  
すべて「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における  
参考評価基準を満足している。



敷地境界の大気測定結果 (PCB)

測定項目	測定箇所	測定日 <sup>1)</sup>	測定結果	風向	参考評価 基準 <sup>3)</sup>	2024年度の 測定回数 <sup>4)</sup>
PCB mg/m <sup>3</sup>	南東端	2024.4.10～17	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005未満	北北東		
		(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.00005未満	—		
	北西端	2024.4.10～17	0.00005未満	南南西	0.0005 以下	年4回
		2024.7.16～23	0.00005未満	南		
		2024.10.2～9	0.00005未満	北東・南南西		
		2025.1.22～29	0.00005未満	北北東		
		(2020年度～2022年度) <sup>3)</sup>	0.00005未満	—		

1)測定頻度は、PCBの除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。

2)操業時の対比データとして掲載。

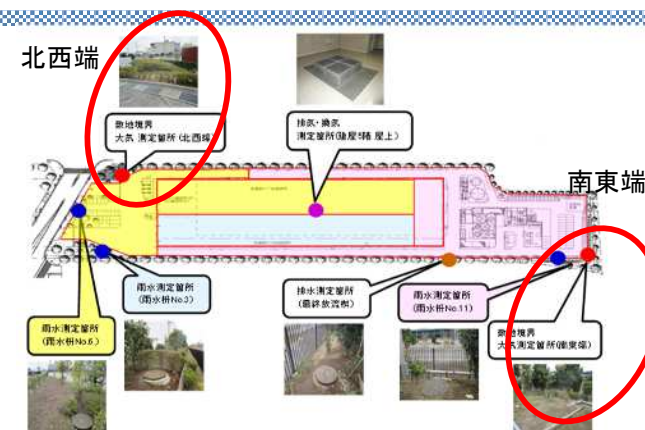
3)「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す参考評価基準。

4)2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

# 7. 先行解体撤去工事中の排出源モニタリング及び 周辺環境モニタリング

## ■ 周辺環境モニタリング：敷地境界の大気質 (ダイオキシン)

すべて「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」における参考指標を満足している。本年10月の秋季測定では、 $0.76 \sim 1.0 \text{ pg-TEQ/m}^3$ と更に高い値であるが、これは南風の時の周辺環境の影響によるものであり、解体撤去に係る作業・工事によるものではない。



敷地境界の大気測定結果 (ダイオキシン)

測定項目	測定箇所	測定日 <sup>1)</sup>	測定結果	風向	年平均值	参考指標 <sup>3)</sup>	2024年度の測定回数 <sup>3)</sup>
DXNs pg-TEQ/m <sup>3</sup>	南東端	2024.4.10～17	0.066	南南西	0.271	年平均 0.6以下	年4回
		2024.7.16～23	0.21	南			
		2024.10.2～9	0.76	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.046	北北東			
		(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.0084～0.38	—			
	北西端	2024.4.10～17	0.16	南南西	0.404	年平均 0.6以下	年4回
		2024.7.16～23	0.37	南			
		2024.10.2～9	1.0	北東・南南西			
		2025.1.22～29	0.087	北北東			
		(2020年度～2022年度) <sup>2)</sup>	0.013～0.52	—			

1)測定頻度は、PCBの除去分別を含む設備の解体撤去期間が、3ヵ月内であれば1回、4～6ヵ月であれば2回、7～9ヵ月であれば3回、10～12ヵ月であれば4回となるように実施する。

2)作業時の対比データとして掲載。

3)「解体撤去でのモニタリングの基本的対応」の中の表2に示す参考指標。

4)2024年度は12ヵ月間に渡って工事・作業があるため、年4回の実施とする。

## 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

各種安全活動を通じて、安全レベルを向上、無事故・無災害で工事を完遂する。

### 1) SA委員会

解体撤去工事の発注仕様書の内容は、東京PCB処理事業所の「環境・安全評価委員会 (S A 委員会)」にて環境・安全評価を実施・承認し、本社へ報告する。本社の「審査会議」は、当該報告内容を確認することにより、評価結果を審査する。

### 2) 外部専門機関による講習会、及び現地調査

外部専門機関による解体撤去工事現場における災害事例からの講習会の実施。解体工事の現場調査を実施して、考えられる労災リスク等の意見交換を行い、JESCO及び請負会社の安全意識向上に繋げた。

### 3) 解体撤去災害防止協議会の設置及び安全パトロール

解体撤去災害防止協議会を設置し、解体撤去災害防止協議会パトロール(1回/月)を実施。また、通常の安全衛生協議会パトロール(1回/月)、定例パトロール(1回/週)も実施。指摘事項は、改善を指示し、対応状況を確認をした(書類にて管理)。

### 4) ミーティング等

①朝会、夕会、週例会議、月例会議等：

工事関係者間にて、工事関係情報(作業内容、工事实績・予定、高リスク作業有無等)を密に共有。必要に応じて操業・他の工事との調整を行った。

②KY：

作業開始前に、実現場にて、作業内容確認、KYを実施(業者、運転会社、JESCO)。

## 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

### ■解体撤去災害防止協議会の設置

#### 1) 目的

解体撤去に係る洗浄作業、PCBの除去分別、解体撤去工事等を、協力会社、JESCO、運転会社の協力体制の下で、無事故無災害で安全に進めることを目的とし、2024年10月31日に設置し、11月より以下の通り実施している。

#### 2) 構成メンバー

解体撤去請負業者(現在3社)、運転会社、JESCO

#### 3) 活動状況

- ・解体撤去工事・作業等の安全に関する意見交換、情報の共有
- ・雇入れ時の安全教育、ヒヤリハット報告、KY実施状況の共有
- ・解体撤去レベルⅢ作業の管理
- ・会議後、解体撤去安全パトロールの実施
- ・毎月1回(第4木曜日)、定例的に実施



# 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

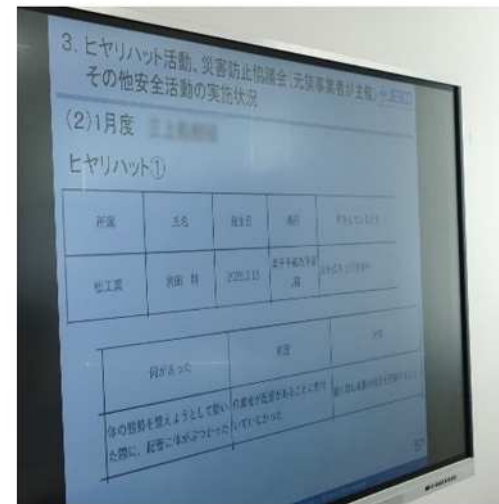
## ■解体撤去工事・作業等の安全に関する意見交換・情報の共有

●T社		・産業廃棄物を入れるドラム缶	
・安定器室の天井クレーン		12月	・3階安定器室で発生した産業廃棄物を入れるドラム缶を設置してほしい。
11月	・破砕機室の上の手すりの件は外すということ考えている。		・現在、安定器室で発生したウエス・テープなどは1階に運んでいる。
	・ただし、手すりがない状態での天井作業が発生する。		・増えれば大変だが、今はこまめに依頼している状況。
	・必ず安全を考慮して作業を計画してください。	・安定器室除去分別に関する仮置き場が少ない。	
・JESCOの単管足場コストが高い。		12月	・3階横持ち可能なところに仮置き場がほしい。
11月	・ビケ足場等は、太平さんにリースしていただいた場合、返却時に、洗浄等が必要になる。		・現在、3階に置いている物は9日に分析に出した後、無害化処理予定なので、その場所は空いていく。
	・手間を考えると、今の単管足場使用。		それらは分解しないでそのまま引き渡します。
	・交換足場、片枠足場、鎖方足場等は一定数を用意するということも今視野に入れている（現在協議中）		・今後、パレットで引き渡しした方が運搬も楽なのでその方向で考える。
12月	現在見積中。	●K社	
・カニクレーンの使用		・帯鋸使用の件	
11月	・かなり威力を発揮するが、ディーゼルエンジンは使用できない。	11月	・使用できればTEOさんをお願いしなくても我々で切ることができる。
	・電動はあるのですが、能力が低い		・TEOさんからSOP,法定関係などのルールを教えていただき、運用のルールを作らないといけないかもしれませんが、良いと思います。
	・電気式で使えそうなものがあるかどうか調べる。		・個々の案件でJESCOに話してもらい、TEOさんと調整してお願いします。
12月			



# 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

## ■ヒヤリハット報告



安全ヒヤリ・ハット報告

安全ヒヤリ・ハット報告

報告者: 〇〇〇 報告日: 2024.01.15

発生場所: 〇〇〇 発生時刻: 〇〇:〇〇

発生状況: 〇〇〇

発生原因: 〇〇〇

発生経緯: 〇〇〇

発生結果: 〇〇〇

発生対策: 〇〇〇

発生教訓: 〇〇〇

発生報告: 〇〇〇

発生承認: 〇〇〇

発生完了: 〇〇〇

安全ヒヤリ・ハット報告

2024年1月15日

安全ヒヤリ・ハット報告

2024年1月15日

安全ヒヤリ・ハット報告

2024年1月15日

ヒヤリハット報告書一覧

所属	発生	発生日	場所	発生しているとき	発生状況	対策
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.4	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.5	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.18	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

ヒヤリハット報告書一覧

所属	発生	発生日	場所	発生しているとき	発生状況	対策
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.15	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.18	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

ヒヤリハット報告書一覧

所属	発生	発生日	場所	発生しているとき	発生状況	対策
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.15	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	2024.12.18	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

安全ヒヤリ・ハット報告

報告者: 〇〇〇 報告日: 2024.01.15

発生場所: 〇〇〇 発生時刻: 〇〇:〇〇

発生状況: 〇〇〇

発生原因: 〇〇〇

発生経緯: 〇〇〇

発生結果: 〇〇〇

発生対策: 〇〇〇

発生教訓: 〇〇〇

発生報告: 〇〇〇

発生承認: 〇〇〇

発生完了: 〇〇〇

安全ヒヤリ・ハット報告

報告者: 〇〇〇 報告日: 2024.01.15

発生場所: 〇〇〇 発生時刻: 〇〇:〇〇

発生状況: 〇〇〇

発生原因: 〇〇〇

発生経緯: 〇〇〇

発生結果: 〇〇〇

発生対策: 〇〇〇

発生教訓: 〇〇〇

発生報告: 〇〇〇

発生承認: 〇〇〇

発生完了: 〇〇〇

安全ヒヤリ・ハット報告

報告者: 〇〇〇 報告日: 2024.01.15

発生場所: 〇〇〇 発生時刻: 〇〇:〇〇

発生状況: 〇〇〇

発生原因: 〇〇〇

発生経緯: 〇〇〇

発生結果: 〇〇〇

発生対策: 〇〇〇

発生教訓: 〇〇〇

発生報告: 〇〇〇

発生承認: 〇〇〇

発生完了: 〇〇〇



# 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

## KY実施状況の共有

### RKY (リスクアセスメント危険予知) 活動

2025年 1月 9日(木) 参加者: 田中 英樹、佐村 大樹

① 作業場所、内容		② 危険要因となる作業					
作業場所	作業内容	PCBレベル	高圧・低圧	高所・開口部	刃物使用	騒音・振動・熱	
1 汚水処理槽 回収ポンプ	残置物回収、拭き上げ清掃	非管理、1、2、3	○・○	○・○	○・○	○・○	
2		非管理、1、2、3	○・○	○・○	○・○	○・○	

③ 危険予知 (安全、品質記載)				④ 危険予防対策			
何の作業で	何をして	どうなった	リスク程度 大・中・小	何の作業では	こういう対策をする	リスク程度 大・中・小	
1 ホッパー内で 拭き上げ	姿勢を歪みふために 立ち上がりながら	天井に頭を ぶつける	大・中	ホッパー内 では	頭上に注意 する	大・中・小	
2 脚立作業中	脚立がぐらついて バランスを崩し	転落する	大・中・小	脚立 使用前に	点検及び 安定の確認	大・中・小	
3 残置物 回収中	回収忘れがあり	後戻りになる	大・中	清掃後	再確認	大・中・小	

リスク 大 既知・重大災害、施工中止を要するような重大な品質不適合 中 作業災害、施工開始まで1日を要する不適合 小 軽微災害・軽微な品質不適合

⑤ 今日の安全ワンポイント

⑥ 施工にあたっての注意事項 PCBを周囲に持ち出さない 保護具 ヨシ!!!

### RKY (リスクアセスメント危険予知) 活動

2025年 2月 13日(木) 参加者: 田中 英樹、佐村 大樹

① 作業場所、内容		② 危険要因となる作業					
作業場所	作業内容	PCBレベル	高圧・低圧	高所・開口部	刃物使用	騒音・振動・熱	
1 汚水処理槽	電装品類取外し、拭き上げ清掃	非管理、1、2、3	○・○	○・○	○・○	○・○	
2		非管理、1、2、3	○・○	○・○	○・○	○・○	

③ 危険予知 (安全、品質記載)				④ 危険予防対策			
何の作業で	何をして	どうなった	リスク程度 大・中・小	何の作業では	こういう対策をする	リスク程度 大・中・小	
1 拭き上げ 清掃時	機器類に 気が付かず	頭や体を ぶつける	大・中・小	拭き上げ 清掃時	周囲に 注意する	大・中・小	
2 取外した 電装品を拭き上げ	手拭き 電装品を落とす	足を遮る	大・中・小	電装品 を拭き上げ 時	両手で しっかり持つ	大・中・小	
3 拭き上げ 清掃時	拭き忘れが あり	後戻りになる	大・中・小	拭き上げ 清掃時	再確認	大・中・小	

リスク 大 既知・重大災害、施工中止を要するような重大な品質不適合 中 作業災害、施工開始まで1日を要する不適合 小 軽微災害・軽微な品質不適合

⑤ 今日の安全ワンポイント

⑥ 施工にあたっての注意事項 PCBを室外へ持ち出さない 保護具 ヨシ!!!



R-KY実施

R-KY  
(禁止手を作業項目に織り込み実施)  
各実施良好。



R-KY実施

ミニ検討会  
安全ハザードマップ  
各実施良好。



R-KY実施

ミニ検討会  
安全ハザードマップ  
各実施良好。



# 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

## ■パトロールの実施



解体撤去災害防止協議会 安全パトロール報告書 1/1

1. 実施日時 : R7年12月26日(木) 11時10分~11時50分

2. 実施場所 : 安定器等格納設備、コンデンサー等格納設備のケーブル架設作業

3. パトロール者 : 協力会社

JESCO : [Redacted]

TEO : [Redacted]

No.	作業エリア	指摘内容	是正相当	是正内容	確認
①	安定器	鉄/非鉄屑洗浄エリア手前段で上がった床の穴をテープで補修しているが、テープが破れており、足がはまってしまう恐れがある。	○	開口部にエースパッドを敷いた後、ドラップも貼り付け、ビンクッションを貼った。	○

写真  
①

1/4 確認済

特記事項  
異議事項

解体撤去災害防止協議会 安全パトロール報告書 1/1

1. 実施日時 : R7年2月27日(木) 11時10分~11時45分

2. 実施場所 : 安定器等格納設備、廃材運送用スラッパ化設備

3. パトロール者 : 協力会社

JESCO : [Redacted]

TEO : [Redacted]

No.	作業エリア	指摘内容	是正相当	是正内容	確認
①	コンクリート壁	作業中に壁に足が引っかかって転倒した。	×		
②	作業場所	作業場所が狭い。	×		
③	作業場所	作業場所が狭い。	×		
④	作業場所	作業場所が狭い。	×		
⑤	作業場所	作業場所が狭い。	×		

写真  
①

②

③

特記事項  
異議事項

解体撤去災害防止協議会 安全パトロール報告書 1/1

1. 実施日時 : R7年1月30日(木) 11時15分~11時50分

2. 実施場所 : 安定器等格納設備、廃材運送用スラッパ化設備

3. パトロール者 : 協力会社

JESCO : [Redacted]

TEO : [Redacted]

No.	作業エリア	指摘内容	是正相当	是正内容	確認
①	作業場所	作業場所が狭い。	×	作業場所が狭い。	○
②	作業場所	作業場所が狭い。	×	作業場所が狭い。	○
③	作業場所	作業場所が狭い。	×	作業場所が狭い。	○
④	作業場所	作業場所が狭い。	×	作業場所が狭い。	○
⑤	作業場所	作業場所が狭い。	×	作業場所が狭い。	○

写真  
①

②

③

④

⑤

特記事項  
異議事項

## 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

### ■解体撤去災害防止協議会

下期11月からは、全員が受講する教育訓練・研修の他、解体撤去災害防止協議会を月1回のペースで実施している。



解体撤去災害防止協議会(2/27)



解体撤去災害防止協議会パトロール(11/28)



## 8. 解体撤去工事の安全への取り組み

### ■ミーティングの具体例



JESCOの参加する解体撤去に係る作業者の安全朝礼やKY実施の様子